



第17号

令和2年8月1日
高山赤十字病院

病院長よりこんにちは！

拝啓 長雨が続いて梅雨明けが待ち遠しいこの頃、いかがお過ごしでしょうか。開業医の先生方はじめ関係機関の皆様には患者さんのご紹介など相互連携にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

ところで気象庁は九州5県と岐阜、長野の計7県に大雨特別警報を発表した今回の豪雨を「令和2年7月豪雨」と命名しました。今回の大雨では、線状降水帯という気象用語を初めて耳にしましたが、局地的・集中的な豪雨が長時間継続したことによって多くの河川で氾濫が発生したほか、土砂災害も多発し、広い範囲に顕著な被害をもたらしました。飛騨地区においては飛騨川の氾濫によって下呂市で床上床下浸水の被害をもたらし、さらに一部では土砂崩れもありました。当院の医療社会事業部は早速救護班の立ち上げ準備に取り掛かりましたが、被害が限定的だったため派遣要請はありませんでした。いずれにしましてもこの豪雨は新型コロナ禍で疲弊しているところへのダブルパンチとなりました。このたびの災害により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、皆様の健康と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

敬具

病院長 清島 満

【同封文書】

○病院長あいさつ「病院長よりこんにちは！」

お盆の体制/退任医師のご案内/研修医獲得への道 …… P2

先生ってこんな人 内科 高桑 章太郎 医師 …… P3

○外来担当医表 8月分

○高山赤十字病院診療案内

…患者さんによるご予約の場合に当院への紹介状と共にお渡しいただくと便利です

○CT・RI 検査 医療機器共同利用に係る運用の変更について

・CT・RI 検査 医療機器共同利用 患者説明

※検査の必要性に等に係る患者の同意について、ご協力よろしくお願いします。

○地域連携係よりお知らせ

・医療機器共同利用紹介予約の流れ

・医療機器共同利用検査依頼書



◆◆お盆期間における診療体制のご案内◆◆

お盆期間中も外来・救命救急センターとともに通常どおり行っております。

◆◆退任医師のご紹介◆◆

7月31日付けにて産婦人科・永田健太郎先生（H27年卒）が退職いたしました。地域の先生方にはお世話になり誠にありがとうございました。

尚、退職に伴う補充はなく、引き続き矢野竜一郎部長をはじめ計4名の医師で産婦人科を担ってまいります。

◆◆ 研修医獲得への道！ ◆◆

新型コロナウイルス感染症の影響は思わぬところにも波及しはじめ、そのひとつに、実践を積み即戦力への成長著しい研修医の獲得があります。

当院では、これまで県内外より病院見学にお越し頂いていた学生のリクルート活動に代わり、研修内容の伝わる動画を作成するなど、医師確保の取り組みを強化しています。

医療関係者のみなさまにおかれましては、医学生はもちろん、ご興味をお持ちの方がいらっしゃいましたらぜひご覧いただき、少しでも当院の研修の様子、ウェルカムな温かい雰囲気を感じて頂ければ幸いです。

【民間医局レジナビ Web】

レジナビ動画 『動画で知ろう！研修プログラム』

<https://www.residentnavi.com>





◇◇『先生ってこんな人』シリーズ⑨◇◇

開業医の先生と「顔の見える関係」を築き、安心して患者さんをご紹介いただけるよう
スタートした『先生ってこんな人』シリーズ。

第9回目は、内科の高桑章太郎先生です。

ご経歴を教えてください

高校まで地元高山で育ちました。高校を卒業後、富山大学へ進み高山日赤で研修時代を過ごし、3年目からはレジナビの参加をきっかけに府中市にある都立多摩総合医療センターで6年間お世話になりました。

当時、病院は新築後数年しか経っておらず新しい病院で医師数も多く、その規模の大きさから多くの症例を経験させていただきました。

4年目からは腎臓内科医として勤務していましたが、専門に注力する環境が整っており、研修医と共にシャント造設を任せられたり、一人判断せざるを得ない場面も徐々に増えやりがいを感じていました。

あっという間に6年が過ぎ、昨年専門医の取得を一区切りに帰郷しました。



医師を目指したきっかけは何ですか？

父の病院を誰かが継がなければならないとっていて、私自身は優等生タイプではありませんでしたが、高校生の時に医学部に進むことを選択しました。



研修医時代はいかがでしたか？

当時はフルマッチで一学年 7 名の研修医が在籍し、それぞれ切磋琢磨し刺激し合いながら研修時代を過ごしました。一緒に時間を過ごした研修医は現在、飛騨地域にいませんが研鑽を積み、将来当地域を担う医師となって戻ってきてもらえれば私も心強いです。

たかくわ しょうたろう
内科 高桑 章太郎 医師
(日本腎臓学会専門医)



7年ぶりの高山はいかがでしょう？

当時と変わらない環境で働かせていただいています。

柴田先生が包括的に診てくださっていた透析患者さんを徐々に任されるようになり、先日はこれまで泌尿器科で担っていた腎生検を行いました。久しぶりの腎生検だったため、パス作成や放射線科との調整等、他部署の協力なしには実現することができなかつたと感じています。当院の横のつながりは大変心強いですね。

医師が少なく先生方が多忙な故、これまで手が届かなかつたことを実現することは、達成感もありやりがいを感じています。

都市部とへき地拠点病院でもある当院に違いはありますか？

都市部は寝たきりの患者さんが多く、様々な病院がありますから付随するサービスも充実しています。一方、飛騨は元気なお年寄りが多いですね。しかし、合併症も多いため、定期的な健診や、かかりつけ医への受診が大切です。持病の有無はありますが、日頃から塩分は程々に食事に気を付け、適度な運動をし健康的な生活習慣を心がけていれば、少なからず当分野の医師が必要になることはありません。持病をお持ちの方はもちろん、特にお年寄りには定期的な健診をおすすめします。



当地の人工透析の状況はいかがですか？

地域の医療現場では、人的医療資源の乏しいなか透析維持管理に努めていらっしゃると思います。特に、下呂は中津川方面からの患者の受け入れもあり比較的患者数が多く、今回のように災害による通院障害が発生した場合は現場のご苦労は絶えないと存じます。一概に飛騨といっても地域が広大なので、各市で抱える問題は異なると思いますが、より連携体制の構築が必要と感じています。

休日はどのように 過ごしていらっしゃいますか？

高山で生まれ育ちましたが、知らないところも多く観光客のような新鮮な気分で郊外をドライブすることがあります。冬は、上級者ではありませんが大学時代スキー部に所属していたこともあり、スキーを楽しんでいます。



開業医の先生へメッセージをお願いします。

血尿、蛋白尿、腎機能の低下の原因精査、高血圧治療の見直し、二次性高血圧の識別など、お気軽にご紹介いただければと思います。開業医の先生方から紹介していただきやすく敷居を低く努めてまいります。また、逆紹介の場合も何卒宜しくお願い致します。



梅雨明けが待ち遠しいですね！